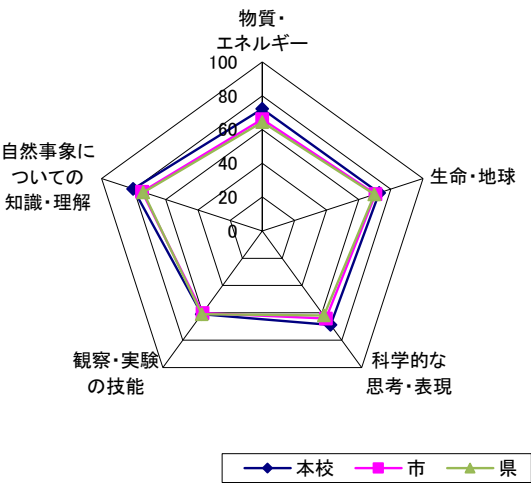


宇都宮市立富士見小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	72.2	66.1	64.4
	生命・地球	72.7	70.4	69.8
観点	科学的な思考・表現	68.8	64.1	61.9
	観察・実験の技能	60.9	60.2	61.0
	自然事象についての知識・理解	80.3	74.8	74.0



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	○本領域の平均正答率は72.2%で県の平均正答率を7.8ポイント上回った。 ○「電気の通り道」の設問では、どの設問でも県の平均正答率を10ポイントを上回り、特に「1つの豆電球と乾電池を使いあかりがつく回路を選ぶ」では平均正答率を75.2%で、県の平均正答率を12.0ポイント上回った。 ●「日光を重ねたときの明るさと温度の変化を考察する」の平均正答率を30.8%で、県の平均正答率を7.5ポイント上回っているが、正答率が低い。	・定着が十分ではない児童も見られるので、個別指導により、基礎基本を定着していく。 ・適切な言葉を使って理科的事象を説明することができるように、普段から結果やまとめ、考察を自分で記述する活動を取り入れていく。
生命・地球	○本領域の平均正答率は72.7%で県の平均正答率を2.9ポイント上回った。 ○「身近にいる昆虫の体の色とすみか」の平均正答率を82.9%で、県の平均正答率を17.8ポイント上回った。 ●「記録から日なたの温度計を選び、その理由を説明する」の平均正答率を46.2%で、県の平均正答率を2.5ポイント下回った。	・表やグラフを比べて考えることができるように、普段から表やグラフが何を表しているか明らかにし、根拠を持って説明する活動を取り入れていく。 ・自分の考えを文章でまとめる機会を多く持ち、記述式の問題にも答えられる力をつけていく。